

静岡市・静岡ガス(株)・中部電力(株)の三者共同実験を開始します！

静岡市上下水道局、静岡ガス(株)、中部電力(株)の三者で「静岡市におけるガス、水道及び電力共同自動検針実証実験に関する基本協定」を令和2年10月23日に締結し、令和2年12月14日から2年間、電力スマートメーターの通信網を活用した三者共同の自動検針の実験を開始します。

また、実験結果を用いることで、高齢者見守りや一括検針・一括請求等の新たなお客様サービスの提供や災害時の情報発信・復旧の迅速化等の社会的課題の解決の研究及び検討を行います。



スマート水道メーターってなに？

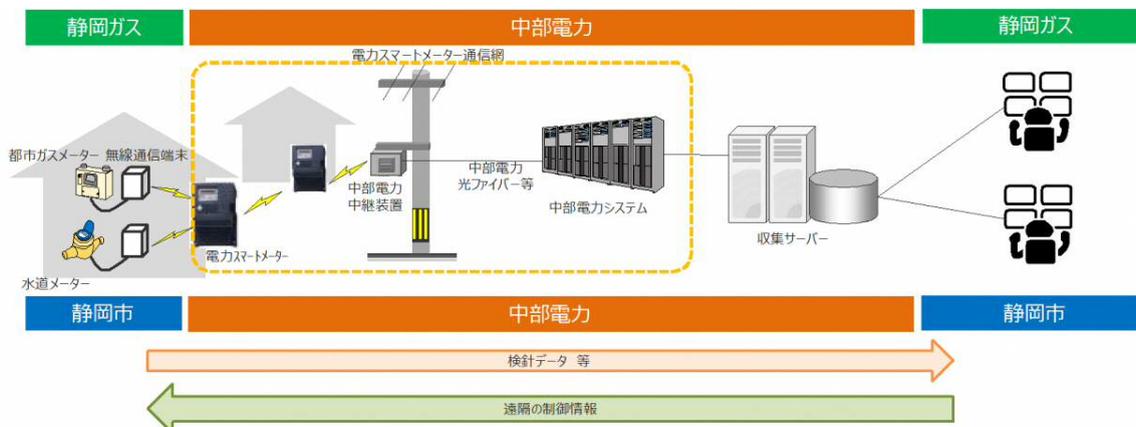
スマート水道メーターとは、従来の水量計測メーターとは異なり、通信端末機の搭載による通信機能を持った水道メーターを示します。通常の場合は、使用量を計測するには検針員が現地にて検針情報の確認を行いますが、スマート水道メーターを使用した場合は、無線通信端末にて検針情報を取得可能であるため、遠隔地から検針情報の確認が行えます。リアルタイムでの流量情報の収集が可能となり、迅速な漏水検知、事故時等の濁水範囲特定及び断水被害の減少、水道施設及び配水管のダウンサイジング、検針員不足に備えた労務コストの縮減や業務効率化が期待されます。



どのような実験をするの？

市内駿河区集合住宅の水道及びガスメーターに無線通信端末を取り付け、電力スマートメーター通信網を通し、遠隔にて使用量データの収集実験を行います。

また、今回の実証実験では電力スマートメーター通信網にて収集した水道・ガス・電気の検針情報における正確性の検証、取得した使用量データの分析及び使用量データを活用したお客様にとってより良い付加価値サービスの検討を行います。



【問合せ】

お客様サービス課 (上下水道局庁舎3・4階)

担当 山本、木村 電話054-270-9108